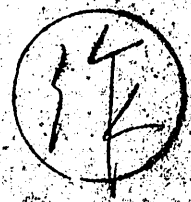


考

人



三 二 受信二一四五 三 終了〇九二〇 電〇一二二五 作  
三 開始〇八〇五

④ 十 方面艦隊戦闘概報着信 艦所

④ 十 方面 艦 隊 戸

④ 五 戦 隊 戸

戦密第〇二二五三七番見

戦闘概報

一一二五一一二二〇 B I 二九約五五 戦主トシテ 昭南軍 陸地 艦ニ來

工作部及倉庫地帯ニ投弾セリ 海軍側戦闘概一四 戦 艦

一 戦果 撃破七(戦闘機及對空砲火ニ依ル) 一二二〇頃ハトハ八兩

方海上ニ一機墜落セルヲ確認ス

二 被害 倉庫六棟大中破セルモ大ナル被害ナシ

一一二九 一 一 B 七十八 (六二二三 五四) 十 艦

00. 3. 4

三 二 受信二二一四五 譯了二三三〇 電自〇〇一一〇〇九七 航作機〇

作戰緊急 第一機動基地航空部隊 鹿屋航空基地

◎ 大海參一部・聯合艦隊中・佐領・支那方面艦隊中・四海上護衛隊中

機密第〇二一六二〇番電 三分ノ二三三

八〇一部隊戰闘速報(三月一日二日)

一、一日一式陸攻九機徳島空ニ向ケ待避中二機一四五二都井岬上空 062

ニテ敵戰闘機二機ト交戦一機自爆一機不時着大破

三、〇 隔夜間哨戒

(1) 都井岬ノ一〇〇度乃至二一〇〇度間進出距離四〇〇哩使用機陸

攻五飛行艇二敵ヲ見ズ一〇〇度線飛行艇一〇一九〇度線及一四

五度線陸攻各一未歸還

(1) 右ニ對スル觸接機二機發進セルモ敵ヲ見ズ一一五度線飛行艇

通一二三五・一二五八・一二四四 ロ一Bケ五(三九三七・五〇〇)一K F G B放

中・高橋 佐藤(鈴)



一機索敵終了後不時着状況不明

(四) 佐多岬ノ二二〇度乃至二三三度間進出距離四〇〇哩使用機陸

攻二機二二〇度線陸攻〇一二五地點コイコイ一タニテ驅逐艦

二隻發見夜戦ノ追跡ヲ受ク

在鹿兒島飛行艇五機二日早朝悪天候ヲ冒シ強行待避ヲ企圖一

機發進後消息不明一機小破待避見合中

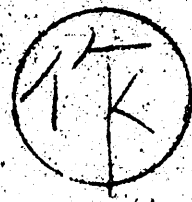
三、二日夜間哨戒可動見込陸攻及飛行艇二。

一註 地點「コイコイ一タ」ハ「地點コイ一タ」ノ作 成誤ト

認ム

宇

三三 受信〇九三一 譯始一四四五 譯了一五二〇 電〇一五一六 作 概



● 二二根戰團概報着信艦所

● 二二根

機密第〇二一六二〇番電

20. 3. 4-

二KB戰團概報 三月二日 其ノ二

本日ノ空襲ニ依ル被害左ノ通

一第一飛行場被彈一〇〇當分使用不能

二第二飛行場被彈一四〇發内滑走路一四發第二飛行場ノ急速修理ニ

着手四日中修理完了豫定

三本日敵機五〇〇挺爆彈ヲ使用セリ。

（電信課註 本電其ノ一未着）

通一五五〇 協作（一八三六五K）二一通 岩佐（森）田





通一二四三 口二Bラ十一(四九四五)八放 羽金(鈴三)

R X 方面防備部隊戦闘概報第四三六號(三月一日)  
○五四〇B I 二五 一機 F 四 U 一二機 ○七四〇 F 四 U 一六機 ○九  
三〇 F 四 U 七「ネイラ」岬ノ二九〇度四〇埋附近偵察並ニ爆撃 R  
X P 〇七一〇及〇九三五 F 四 U 各二機偵察戦果被等ナシ。



南東方面部隊戦闘概報通信艦所

秘 密 第 〇 二 一 七 一 〇 番 電

至 急

通

三 二 受信二〇五五 譯了〇二二五 電〇三一三八 作 概  
三 二 譯始〇一三五〇

20. 3. 3

三三

受信 〇〇三五五  
譯始 〇八三〇

譯了 一〇二〇

電 〇一三〇五

作 概 〇



父根△。母島警備隊  
大海參一部。聯合艦隊口

機密第〇二一七一七番電

發 橫須賀鎮守府參謀長

硫黃島方面ノ戰勢ニモ僅シ貴地方面ニ對スル補給ハ此ノ際急速之ヲ  
實施スルノ要アルヲ痛感シアル處水上艦艇ヲ以テスル補給ハ成功ノ  
見込殆ドナキモノト認メラレ輸送潜水艦ニ依ル緊急輸送實現ニ盡力  
シツツアルモ今日迄ノ情況ニテハ遺憾ナガラ實現ノ見込極メテ薄シ  
貴方面ノ情況ハ累次ノ報告ニ依リ能ク了承シアルモ事情右ノ如キヲ  
以テ現在貴方面ニ保有セラルル兵器彈藥糧食ヲ以テ敵來攻ヲ邀ヘ堅  
ツモノトシテ作戰計畫ヲ樹立セラレ度。

通一四四七

一五ケ二一

日 横須賀

高橋(新井)

20. 3. 4

停

三三 受信二八二〇  
開始〇八五〇

譯了 一〇〇〇 電 〇一四九三

統作 本機

六三 警備隊

聯合艦隊、四艦隊、  
マインヤル方面防備部隊

機密第〇二一七二〇番電

PMB 戦闘概報 (三月二日)

一 來襲機

F四U一三機一二〇二 西方ヨリ來襲滑走路ニ投彈一二一三同方面

二 撃退

F〇四一七 一〇二ノ間F四U二哨戒

三 昨一六二五ヨリ本〇二〇八ノ間中型陸上機(二三五ト思考)南下五

四 昨北上一〇回通過其ノ後次發砲六(内海甲二回)

五 一三七四 呂一、三三、五二八(四通) 片斷(角田)

20. 3. 4.



35 Kg

作

HA

局長	三	四	五	六	七	八	九	十
局長	三	四	五	六	七	八	九	十
A	三	四	五	六	七	八	九	十
B	三	四	五	六	七	八	九	十
E	三	四	五	六	七	八	九	十
J	三	四	五	六	七	八	九	十

【通報表示】

南西方面部隊情報通信所

● 南西方面艦隊P・三一根P・?

● 三五警備隊

機密第〇二一七三二番電 二分ノ二

四「ブーラン」ニハ未ダ敵上陸ヤサルモ警備隊ハ飛行場東方山中

ニ主陣地ヲ移轉シ暗號書ヲ焼キ換字ニテ通信ヲ確保シアリ

ニ「レカスピイ」方面

ハ匪状態々悪化ナルヲ以テ二十八日及二日討伐ヲ行ヒ夫々若干

ニ戦果ヲ擧ゲタリ

三陸軍部、情況甚密第一一七二八番電参照

一八三、呂一Bラ十八、一三四七、五〇〇、五〇〇、B P 通放

原野 (河田)

人

三  
三  
急



受信二二五〇  
譯始〇四一〇五

譯了〇五三〇

電電〇〇一一〇〇一〇

作  
術

高雄警備府

東通・聯合艦隊

海護總司令部各口・一航空艦隊口・支那方面艦隊口・二遣文官隊口  
南西方面艦隊口・海南警備隊口・佐領口・沖根口・台灣空

機密第〇二一八四六番電

三分ノ二

戰圖概報（三月一日）

一〇二〇頃敵戰圖機約四五機ニ群ニ分レ壽南方海上ヨリ高雄岡  
山地區ニ侵入一部ハ佳冬附近ニ投擲セルヲ望見セル外通信杜絶  
ノ爲情況不明ナルモ一一三〇頃迄全機南方海上ニ脱出セルモノ  
ノ如シ

通一三二四  
通一三四八

呂一Bヶ四（四七〇五機）高通

内山・末光  
（上野）



一〇〇機、一五〇機、二四〇機、二四七機、三五機

四群に分レ高雄南西海上ヨリ高雄岡山地帯ニ侵入爆撃機ハ約四〇

機宛ニ分レ台南市及高雄市ノ官廳及大連藥劑北地帯一面ヲ爆撃一

四一五迄ニ全機南方面ニ脱去ス

戦果ナシ

被害

(一) 高雄市民間側被害相當アリ

(二) 台南市ハ中心部ヨリ北西一面ニ被爆火災發生市ノ約四分ノ一

破壊セララルハ主トシテ本島人華街ナリ。

〔電信録註〕

本誌三分ノ三未着



急

三 三 受信 〇〇三〇一〇〇 譯了 〇四〇〇 電 〇一二九八 作 概



聯合艦隊 口・東 通



支那方面艦隊 口・一航空艦隊 口・二遣支艦隊 府  
海軍總司令部 各口・南西方面艦隊 口・海南警備府  
沖繩根 口・臺灣航空隊 佐鎮

發 高 警 機密第〇二一八四六番電 三分ノ三

日海軍側陸軍側ニ直接被害ナシ

三二月二十六日以來敵陣地ニ對シ逐次一次毎ニ無差別シュータン  
爆撃ヲ實施民衆ノ戰意沮喪ヲ狙ヒアルモノノ如シ。

電信課註 本電三分ノ二既配布

通一三三二 呂一Bケ四(四五七二・五LO)高二通放

山岡(志田)

20. 3. 4.

070

多  
人

三三  
受信一七五〇〇  
譯了二二三〇  
電〇一六四九  
作  
概



③ ③

三〇根戰團概報着信艦所・一聯合基地航空部隊△  
先遣部隊口・五基地航空部隊  
四六警備隊・ヤツブ航空基地

機密第〇二一八五〇番電

20. 3. 4

PP 二月中綜合戰團概報

一、來襲機數（延機數）

- (イ) F 四 U I 一 一〇機
- (ロ) P I 三八 一一機
- (ハ) B I 二五 二機
- (ニ) 夜戰 三八機
- (イ) P I 四七 一機
- (ロ) P B Y I 一 二四機
- (ハ) P I 二四 四機
- (ニ) T B F I 一 一二五機

三、戰果

(イ) 撃墜 F 四 U 二機  
 (ロ) 撃破 F 四 U 一 一四機  
 通一七八七 呂一 B ラ十四 (八九九五 KC) 四通  
 明比 (杉本)

三 主 才 及 被 害

(1) 戦 死 四 戦 傷 二

(2) 砲 臺 二

機

燒 夷 彈 及 中 口 徑 砲 程 二 〇 〇 發 以 次

橋 二 直 達 〇 義 州 〇 使 馬 可 能

(3) 河 濱 被 彈 家 屋 七

(2)



Handwritten mark or signature in the top right corner.

三二 受信二二五五 譯了二三二一 電〇一〇八八 航作概〇

至 急 鹿屋空基地

聯合艦隊



第一機動基地航空部隊作戰命令着信艦所  
横空・横空大分遣隊・松山空基地・十九通

機密第〇二一九〇九番電

發 一 K F G B 參謀長

明三日晝間索敵ニテ敵情ヲ得ザレバ當部隊第一回綜合訓練車前打  
合會ヲ四日午前トシ五日ヨリ訓練開始ノコトト致度。

通一三一〇一B(三九三七、五〇)一K F G B 放

木松(鈴三)

人

三 二 受信二三五〇  
三 開始〇〇〇六  
譯了〇〇二八 電〇二〇八六  
航作 概本〇

作戰緊急

停

高雄警備府  
六三四空・新竹、台南、台中、高雄各空基地  
小崗山司令部

機密第〇二一九一八番電

五 F G B 電令作第八號

六 明三日各隊ハ五 F G B 電令作第六號ノ要領ニ依リ作戰スベシ

二 警星隊ハ右ノ外左ニ依リ哨戒ヲ實施スベシ

警星二機〇七〇〇一〇八〇〇發進 F P 二二三 F P 二六進出距離三〇〇

測側程右六〇選基點臺南

一三六七 於一四 (四七四二) 五 KC (五 F G B) 鈴木 (吉田)

23

三三  
受信開始  
一〇三〇  
譯了  
一三三〇  
電  
〇一三五三  
作  
概

二十三日 新 戰 了



東方空襲部隊戰闘概報着信艦所

機密第〇二二〇〇一番電

20. 3. 4

TAB 戰闘概報三月二日

三二一敵四發四機ジャワ東ニ侵入ノ報ニ依リ三八一空零戰二機一一空  
練戰二機發進スラバヤ基地及メンダラン以東及附近上空警戒實施敵子見

074

通一五七五 呂一〇 (一八三六七、五KC) 二十一通 小野寺 (雨谷)





三三 受信一六二四五 譯了二八〇〇 電〇一五四九 航作概本〇

● 二六特根戰團概報着信監所・三南遣艦隊各PT

機密第〇二二〇〇二番電

20. 3. 4-

六KB戰團概報二日

一〇七四〇ヨリ〇八〇〇迄PI四〇二〇 〇八四〇ヨリ〇九〇〇迄

PI四〇 八ワシレ地區銃撃一四三〇ヨリ一五〇五迄PI四〇

コウ地區銃撃一七二〇單發二 ジヤイロ口銃撃一〇五〇單發二

五〇五PI三八 一三カウ灣地區偵察隊果被害ナシ

三夕ルハ碇泊(一六〇〇) T大型二 办型七 驅潛艇三魚雷艇三

三モロタイ發進針路北乃至西大型二七中型一三小型一五計五五。

通一七一〇 呂二Bラ十八(一八三六七五K) 二一通・淺ヌマ(標海)

075

作

三三 受信 〇〇三七 〇五五五 電自 〇〇一一七八 作備  
急 始 〇四一五

鹿屋空基地

機動基地航空部隊戦術概報着信艦所

機密第〇二二〇二八番電

三分ノ一三

一 K F O B 戦術概報(三月一日 三月二日)

一 一日南西諸島方面來襲敵機動部隊ニ對スル索敵ハ當部隊警戒速報

通ニシテ一六三〇頃沖繩南東方七〇涅附近(アトランター)型輕巡

一 一(トイター)型驅逐艦三及敵艦上機四ヲ發見サル外全貌ヲ認メズ

二 一四五〇頃敵戰術機二都井岬及大南群島方面ニ突如出現當部隊避退

中ノ、艦攻二機自爆一機不時着(生存搭乗員歸還後詳細調査ノ豫定)

三 時攻八機飛行艇二機發進ニ區夜間哨戒(一八〇度一三〇〇度及二二

通一三八二 一三八三 一四〇一 呂一Bケ五三三九三七、五三

K F O B 通放

野末(河田)

○夜一二四○夜四○○進ヲ實施ノ地ハニイ一ターニ於テ

變ハ針路四○夜減力不明一發見夜戦ノ追撃ヲ受クノ報ニ據シ○三○

○一○四三○重爆銀河各一ヶ中隊ヲ以テ索敵攻ヲ實施ナルモ天候不良ノ爲敵ヲ見ズ

四歸還搭乗員ニ付調査スルニ搭乗員經驗少ク右發見艦逐艦ハ島嶼ノ誤認夜戦ノ追撃ハ根據不確實ノ算アリ

五二日一七○○迄ニ判明ナル損害ハ天候不良ニ依ルモノト推定一銀河

一機重爆一機墜落飛行艇三機攻二機行爾不明目下調査中。



三 三 受信 〇〇二五〇〇 譯了 〇七二〇 電 〇〇一二九七六 航作 概本 〇

至 急



海護總口・一護衛艦隊

サラングニ航空基地

機密第〇二二〇三二番電

二分ノ一ニ

第九三一空新竹派遣隊作戰日報第九號(二日)

一天候不良並ニ敵襲(基地被害ナシ)ノタメ黎明哨戒及舟山島進出

ヲ取止メ一四五四艦攻三發進隊定ノ哨戒ニ向ヒタルモ天候不良ノ

爲全機一七三〇歸着敵情ヲ待ズ

三日月午前(〇七〇〇)午後M N Q R測定W三三各三機(龍波探信

機) (台灣北方海面一部霧ノ爲飛行不適)

通一三九六一四三三 天二Bケ六(四七〇五機)高週 鈴木(上野)

077

Handwritten mark at top right corner.

Handwritten mark at top center.

三二 受信開始 〇〇三五九

了〇一三〇 電〇一一二一

作概

緊急

ツゲガラオ航空基地



第五基地航空部隊機轉着信艦所

機密第 〇二二〇三五番電

戰圖概報 (三月二日)

一〇六〇〇ヨリ一八〇〇迄P-I四七延一八飛行場及附近銃撃被害一式

陸攻(脚折ノモノ) 炎上B-I二四 一機偵察

三上空制艦ノ爲偵察實施セズ

三可動零戦一。

連一三六二 呂一Bラ一八 (三七八二五K) (五FGGP 淺沼 (福田)

KDB  
急  
三三

三三  
受信〇六四五  
譯始〇七二〇  
譯了〇九二〇  
電〇一二八三  
諜通

共符

高情報着信艦所・四海上護衛隊▽・鹿屋航空基地

機密第〇三〇〇四八番電 二分ノ一

20. 3. 3-

高情報二日二三〇〇

一、南西諸島來襲機ハ依然電波管制中ナリ且九州南西諸島方面潜水艦

ノ出現引續活潑ナルニ鑑ミ同方面再度機動部隊來襲ニ對シ此處ニ

・三日警戒ノ要アリ

ニ左記情況ヨリ「マーシャル」方面有力部隊行動中ノ算アリ其ノ指

向不詳ナルモ今後ノ動向注意ノ要アリ

通一四九一 呂一Bラ十八(九一四五K)高二放

小森(渡瀬)



ト

三三 受信一〇六五五 開始二〇一〇五 了二一三〇 電〇一七一 作概〇

一兩遣隊

大本營海軍部。海上護衛隊口。護衛隊口

機密第〇三〇一〇三電

20. 3. 4

佛印海軍司令部ヨリノ通報ニ依ルハ三月一日正午頃「ミト」市附近碇泊中ノ佛巡洋艦「アマミラルシヤルネ」ノ下流約六哩ニ於テ小型船一隻磁氣機雷ニ依リ沈没乗客百餘名ノ犠牲者ヲ出セリ（右機雷ハ一月二十五日夜敵機ガサンシヤツクニ磁氣機雷ヲ投下セル當時「ミト」方面ニテ索敵部隊ガ飛來セリモノト認メラル）

通一七五七 呂一〇ラー一八ラ（一七五九〇KC）十通

山内（監田）

080

三三 受信一六〇五 譯了一八〇〇 電〇一五四六 災作



第一南遣艦隊 大本營海軍部・海上護衛總口・第一護衛艦隊 一警・海南警

機密第〇三〇一〇五番電

20. 3. 4-

二十八日一三五〇サンジャツク沖ニ於テ入港セントスル機帆船二隻

B一二四 一機ヨリ銃爆撃ヲ受ク一隻沈没

一日〇八二〇聖雀港口ニ於テ入港中ノ機帆船二隻B一二四 一機ヨ

リ銃爆撃ヲ受ケタルモ陸軍戦闘機之ヲ撃退一四四〇サンジャツクニ

於テB一二四 一機ノ銃撃ヲ受ケA特一五號モ 一四四五頃逐ニ沈

没

三二日一二四〇至一三二五サイゴン サンジャツクニB一二四 二機

來襲被害ナシ。 呂一Bヲ十八(一七五九〇KC)十通 田原(森 田)

通一六三五

急



三三

三三

至急

受信一〇〇三〇

了二二三〇 電〇一三六五

航作

本概〇

三八一空



西部空襲部隊戦闘概報着信艦所  
二十二根

20. 3. 4

機密第〇三〇三五七番電

三八一空戦闘概報(三月三日)

〇三〇〇敵大艇機一機BB二侵入シ第一飛行場附近海中二機發投彈被  
奪ナシ。

通一五七二 呂一B(一八三六七、五K)二十一通 昌永(雨谷)





下

三四 受信 一四二八 譯了 一七三〇 電〇二〇五二 作 概  
一六〇七

第六四警

聯合艦隊口・第四艦隊口

傍

機密第〇三〇七一五番電

二月戦況

64 kg

一、出現敵機小型一二四機 中型二五機屢銃撃  
二、數次中型機ヲ以テ空中ヨリ放送小型機ヲ以テ傳單投下（傳聞雜誌又ハ  
補給ノ杜絶ヲ笑フ勸降のモノ）

三、戰果撃破小型二機

四、消耗彈藥（一月及二月 二十五耗機銃二四〇發 十三耗機銃一三〇一

發 重機銃二三五發

五、被害 戰死下士官二名 負傷 兵五名 工員二名

六、二月自來 AHPQ間輸送船PW通過ノモノ約二〇。

通二三二五 卜五（一七六三〇KC）四通 安彦（小野田）

2010

083

20. 3. 5

PIN

至急

三 受信 一七〇〇  
四 譯始 〇七〇〇  
了 一四三〇

電 〇〇二〇〇二  
電 〇〇二〇〇三  
參作  
本概

總無線艦所用共通符號

P T N 戰艦概報着信艦所

機密第〇三〇九四九番電 二分ノ三

二月中ノ P T N

一 敵飛行機來襲情況

七日七機 十日二機宛 砲撃 十四日一二機 二十二日八機宛

二十七日二機偵察セルノ被害輕微飛行場五〇×一〇〇〇米使用可能

三 戰病死 (現在員數) 陸軍三五二 (一八二八) 在海軍警備隊八二 (七八

八) 航空隊二八 (五八) 設營隊五〇 (六五五) 防備隊一五 (四五〇)

計五〇六 (三七八六) 中旬以後主食一日三〇〇瓦トナセル爲病死激減

三 糧食三〇〇瓦ニテ四月保有フツ底自活農產物強風連吹ノ爲極メテ不良

通一七四八、一七五六 天一Bケ五 (八九九五C) 高二放 日下、吉村 (小野田)

4/15

三三 受信一九〇〇〇 譯了二〇〇〇 電〇一八四六 作 概

至 急

高

警

作

東 遼・聯合艦隊

一、五各航空艦隊、南西方面艦隊、海上護衛總部隊、  
二道支艦隊、沖根・佐鎮・海警・臺灣空

機密第〇三一〇三七番電 二分ノ一

戰圖概報 (三月二日)

六〇九〇二頃 B-124 一機 B-125 二機 山四方海面ニ出現機

帆船ヲ銃撃後南西海面ニ脱去ス戦果被害ナシ

三一〇〇〇頃 B-125 一機 B-124 一機 (天候偵察機) 各種戰

圖機約四五機 臺灣南西海面ヨリ臺灣南即地ニ侵入内 P-138

一四機一〇五五佳冬飛行場攻撃一〇二〇頃ニ逐次全機南西海面ニ

脱去ス戦果ナシ。(電信課註 本電二分ノ二既配布)

一七五二 一 B ラ十八 (九一四五) 高二放 比和 (終印)

085

20. 3. 5



ト

三三

受信一八四三

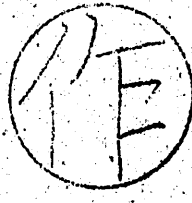
譯了一九二五

電〇一七四四

作備

至急

高雄警備府



海上護衛隊司令部。第四方面艦隊。一航空艦隊。二道文艦隊。五航空艦隊。臺灣航空隊。佐領・沖繩

東京通信隊。聯合艦隊

軍務

機密第〇三一〇三七番電

二分ノ二

20. 3. 4

被害 海軍側ナシ 陸軍側兵舎三棟大破

三一〇〇頃ヨリB-I二四約九〇機B-I二五約二〇機戦死約三五機

南方海面ヨリ臺灣南部ニ侵入一部仁徳東方ニ數十隻投擲セルモ他ハ

通信杜絶スノ爲敵ノ攻撃状況不明 一二三〇頃迄ニ逐次南方海面ニ

脱去セリ 戦果 波音調査中。

(電信課註 本電ニガノ一未着)

通一七四〇 出一ラ十八(一三五二〇) 高 通 日 無 (増田)

三三 受信一六四五二  
開始一六四五二

譯了 一七〇五 電 〇一五〇一

航作 本機 〇

緊急



二二根 戰團概報着信 監所

機密第 〇三一〇五〇番電

第二警備部隊戰團概報 三月三日

フ〇二五〇ヨリ 〇四〇〇ノ間 敵大型機 (B二四ト推定) 「バリツタバ  
パン」ト第一飛行場間南方海上ヲ數回往復後 第二飛行場沖海中ニ投

彈遁走

ニ戰果被害ナシ。

通一七二三 協甲B (一八三六五三K) (二一通 村尾 (森 田)

20. 3. 4

三三 受信一六二〇 譯了二七二〇 電〇一五二五 航作概〇

父根戰概着信艦所

父 島 根

機密第〇三一三一五番電

戰團概報 (三月二日)

一三〇〇B1二四七機來襲振分山東斜面一帶ニ投彈一七二四

リ約一時間二三三〇夜間戰六機來襲飛行場航空線及二見灣沿岸銃

爆撃一九一四・二三四四及三日〇一二一ノ三次ニ亘リ各大型單機

ニテ侵入島内各所盲爆

三 戰果 被害ナシ

通一六六七 天一Bケ五(一〇二〇〇)父通 物金(餘 三)

20. 3. 4



多  
人

作

作戰緊急

三三  
三三  
受信一八三〇三  
詳始一八三〇三

譯了二〇二五

電〇一七四三

作概

南西方面部隊情報着信艦所  
五聯合基地航空部隊

機密第〇三一三五七番電

二分ノ一

20. 3. 4

發 南西方面艦隊參謀長

三日午前ノ敵情

マリンガエン灣

(A) 「サンフアピン」沖驅逐艦一隻 驅逐艇一隻 六五油槽船六 病院船

一隻 L.S. 一〇小舟艇八〇隻 船三ヨット二〇隻

(B) 「サントトマス」輸送船大型(一萬噸級) 三艦船六〇在泊

(C) 「リంగాエン」沖島 二〇驅逐艇二隻 〇九四〇頃出港準備中

ル如キモ一二〇〇ニ至ルモ出港セス。

(電信課註 本電二分ノ二未着)

通一七八九 呂一セラ十八(一一三四七五EC) 五FGBノ取

天  
人



三五 受信二二四〇三  
開始二二〇〇三

了二二一一〇 電〇二六五六 作 概

作戰緊急

● 南西方面部隊情報着信艦所。五基地航空部隊

機密第〇三一三五七番電

二分ノ二

20. 3. 6.

發 南西方面艦隊參謀長

ニ 飛行狀況

(イ) サンフアピアン飛行場在機數二〇〇機  
リンガエン飛行場二〇機  
サンフアピアン飛行場二〇機  
ニテ哨戒編隊訓練ヲナス現在輸送

機十機

(ロ) カバリチアン島附近(リンガエン)西方一飛行艇基地飛行艇母  
艦二P B二各飛行艇一二機在泊

三天候快晴卷層雲量一東風一日及二日ハ朝ヨリ翌朝ニ至ル間視界天

候極メテ良好好  
電信課註 本電二分ノ一既配布

通二九六九 呂一八十八(四五七二) 五〇一高二放 晴光(田中)

5P

緊急

三三

受信一五五七  
開始一六三〇

譯了一七二八

電〇〇一五三八七

航作  
概本〇

PO 戦闘概報着信箇所

機密第〇三一四四六番電 二分ノ六三

20. 3. 4.

一、自〇四三五至〇五二三ノ間 B 二五 PBY 五各一機自〇八五〇至一

〇〇五ノ間 PBY 五一機北東ヨリ 飛來偵察後北東ニ飛去ス

二、同日自一〇三七至一一五三ノ間 二回ニ亘リ延 B 二五 一機 F 四 U

(増槽付) 三四機北東ヨリ來襲第一第二航空基地ランガール島ヲ銃

爆撃北東ニ撃退

三、戦果ナシ

091

被害航空基地ニ若干被襲アル模様ナルヲ調査中。

通一七二二、一七二〇 天二日ケ三(一七六三〇IC) 四通 清野・大塚(森澤)



11/1

作

至急

三四 受信開始 〇九〇〇七 譯了 一〇四五 電 〇一八三八 作 様

二營備隊 (タラカン)

二二根 戰闘報着信 監所

機密第 〇三一五一 一番電

戰闘報 (三月三日)

一 一〇三二 F三八 四機 B二四 二三機 ガスマタヨリ 來襲 守備隊本部 附近ニ 燒夷彈 約六〇〇ヲ 投彈 一四七 東方ニ 去ル

二 戰果 ナシ 被害 警備隊 兵舎 約三分ノ二 全燒 民家 約五〇棟 全燒 ノ外 重要 施設ニハ 被害 ナキ 模様 其ノ他 目下 調査中。

通二一〇四 天二Bケ三 (一八三六七。五〇) 二一通

安田 (渡河)

092

20. 3. 5-



三  
四三  
譯始〇五九五五  
譯了〇六〇〇  
電〇一九六三  
作  
概



父根戰鬥概報着信艦所

總無線艦所用共通符號

機密第〇三一六一番電 二分ノ一

一戰發

一圖海報(母島警備隊司令  
三月三日)

五機來襲灣内ニ坐礁中ノムツキ丸ヲ雷撃及銃爆撃後二〇〇度方向ニ  
道去

電信課註 本電二分ノ二未着

通 一八一九 天二B(一〇三〇〇KC)父通 清野(雨谷)

手  
人

三三  
受信開始 〇四〇三六  
終了 〇五一一〇  
電 〇一七四二  
作 概

急

急

共

符

父島特根取調機報信艦所

機密第 〇三一六二一 番電 二分二

發、母島警備隊司令

二、戰果

被害ナシ

三、發射彈數

(一門平均發彈) 二十五 耗機銃彈七四 (一七六〇) 十二耗高角砲  
砲彈三 (一四七)。

《電信諒註 本電二分ノ一未着》

通 一八五四

天二B分六

B

横通

清野 (久保田)

20. 3. 4

094